

## 要 旨

試験委託者

環境省

表 題

パルミチン酸,2-スルホ-,1-メチルエステル,ナトリウム塩のオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する  
繁殖阻害試験

試験番号

NMMP/E00/3080

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質 : パルミチン酸,2-スルホ-,1-メチルエステル,ナトリウム塩
- 2) 暴露方法 : 半止水式(週3回、試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間 : 21 日間
- 5) 試験濃度 : 対照区、0.08mg/L、0.14mg/L、0.26mg/L、0.46mg/L、0.83mg/L および  
1.50mg/L(公比1.8、設定濃度)
- 6) 試験液量 : 1容器(連)につき 80 mL
- 7) 連数 : 10 容器(連)/濃度区
- 8) 供試生物数 : 10 頭/濃度区(1連につき 1 頭)
- 9) 試験水温 : 20±1℃
- 10) 照明 : 室内光、16 時間明/8 時間暗
- 11) 被験物質の分析 : LC-MS法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

実測濃度が設定濃度の±20%を外れたので結果の算出には実測濃度の時間加重平均値を用いた。

### 2) 21 日間の親ミジンコの半数 致死濃度 (LC50)

= 1.12mg/L (95%信頼区間 : 0.85mg/L~4.07mg/L)

### 3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50)

= 0.70mg/L (95%信頼区間 : 0.63mg/L~0.79mg/L)

### 4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOECr) = 0.24mg/L

### 5) 21 日間の最小作用濃度 (LOECr) = 0.38mg/L

(上記濃度は、実測濃度の時間加重平均値に基づく値である)